



ADRC Highlights Vol.147

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

16 September 2006

➤ 国際防災オープンフォーラムが10月19日国連大学にて開催されます

アジア防災センター(ADRC)では、このたび、国連大学(UNU)および内閣府、国連国際防災戦略事務局(UN/ISDR)、国連教育科学文化機関(UNESCO)、世界銀行との共催により、国際防災オープンフォーラム「災害に強い社会づくりを目指して～防災教育と持続可能な開発を考える～」を2006年10月19日(木)14～17時30分、東京の国連大学・ウタント国際会議場にて開催します。

今回のフォーラムは、災害に強い社会づくりを目指すために、(1)災害弱者である子供たちに対する防災教育、(2)災害リスク軽減の要素を取り入れた開発計画、(3)住民・地域が主役となるようなコミュニティ防災、の3つの切り口が重要であるという認識のもと、講演・パネルディスカッションを行い、国内での防災教育への関心を高めるとともに、国際関係機関との連携を通じて持続可能な開発の推進に資するために開催されるもので、当日はそれぞれの専門家の方々からわかりやすくお話しいただきます。

…プログラム内容(予定)…

講演:

ハンス・ファン・ヒンケル(国連大学学長)
ムハマッド・サイドウール・ラーマン
(バングラデッシュ防災センター所長)
マリボンヌ・プレシ・フレサール
(世界銀行交通都市開発局長)

パネルディスカッション:

上記の講師3名に加えて
バダウィ・ルーハン(UNESCO 防災担当チーフ)
幸田シャーマン(国連広報センター所長)
鈴木 弘二(アジア防災センター所長)

コーディネーター:

西川 智(内閣府防災担当参事官)

参加費は無料で、どなたでも参加できるこのフォーラムでは、現在、参加希望者を募集しております。希望される方は、2006年10月12日までに、氏名・職業・住所・電話/FAX番号をお書きの上、アジア防災センター「国際防災オープンフォーラム」係宛にメール(octoberforum@adrc.or.jp)、もしくはFAX(078-262-5546)にてお申し込みください。詳細は、http://www.adrc.or.jp/events/octoberforum/October_Forum_J.htmに掲載しています。みなさまのご参加をお待ちしています。

➤ アジア防災センタースタッフ紹介 No.26 □ 渡部 弘之 主任研修員



今年7月より東京海上日動火災保険株式会社より出向しております渡部(わたべ)と申します。これまでは、主に企業向けの財物に関わるリスクマネジメントを担当しておりました。

私の行っていた主な業務は、保険を引き受ける場合、まずは顧客のリスクの大きさを測定し、そのリスクに見合った保険料を算出、さらには、そのリスクに対応する商品が設計できない場合には、保険商品ではなく、コンサルティングにより顧客のリスクを軽減する方策を提案、実施するというものでした。

昨今、企業の抱えるリスクも多様化しており、従来の保険商品では対応できない局面も増えていることから、コンサルティングの重要性はますます高まっています。

自然災害の分野では、石油・石油化学プラントや半導体プラントの確率論的な地震リスク評価業務を行ったり、天候デリバティブの一種である台風デリバティブにより台風リスクをヘッジする商品開発にも携わってきました。

昨今、ニューオーリンズのハリケーンカトリーナやインド洋津波に代表されるように大規模な自然災害によるロスを与える保険会社の経営への影響も極めて大きくなっています。そのため、保険会社では、引き受けた巨額な契約ポートフォリオの管理のために確率論的な台風・地震リスク評価モデルを開発し、シミュレーションにより数万年分の被害予測を行ない、引き受け業務に役立てています。

また、従来の再保険市場だけでは、これらの巨額な自然災害リスクを引き受ける能力は不足しており、日本の自然災害リスクを海外の保険会社が保有する等価な自然災害リスクと交換したり、さらには、巨額な自然災害リスクを金融市場へ転移させるべく、地震リスクを証券化する取り組みも行われています。

一般にリスクマネジメントは、リスクの発見、評価、処理の3つの局面より構成されておりますが、アジアでの自然災害リスクの処理については、ようやく予防(Prevention)が始まったばかりの状況といえます。将来は、アジアにおいても欧米のようにリスクの処理にリスクファイナンス的なアプローチも不可欠になると思われます。

前職での経験をアジア防災センターでの活動に活かしていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行: **Asian Disaster Reduction Center(アジア防災センター)**

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(262)5540 FAX: 078(262)5546

誌代・送料: 無料 / 毎月2回発行(予定)